

製品名: ANT3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06952**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	32kDa

抗原情報

遺伝子名	SLC25A6
別名	SLC25A6; ANT3; CDABP0051; ADP/ATP translocase 3; ADP; ATP carrier protein 3; ADP,ATP carrier protein, isoform T2; ANT 2; Adenine nucleotide translocator 3; ANT 3; Solute carrier family 25 member 6
遺伝子 ID	293.0
SwissProt ID	P12236
免疫原	抗血清はヒト SLC25A6 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 121-170

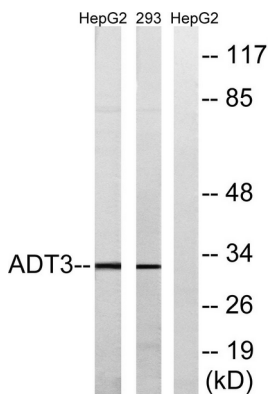
背景

この遺伝子は、溶質輸送タンパク質遺伝子のミトコンドリア輸送サブファミリーに属する。この遺伝子産物は、ADPを細胞質からミトコンドリア基質へ、またATPをミトコンドリア基質から細胞質へ輸送するゲートポアとして機能する。このタンパク質は、アポトーシスを誘導するミトコンドリア産物の放出を制御する膜透過性遷移孔複合体 (PTPC) の機能に関与していると考えられている。ヒトゲノムには、この遺伝子の非転写擬遺伝子が複数存在する。[RefSeq 提供、2013年6月]、機能: ミトコンドリア内膜を介したADPとATPの交換を触媒する。アポトーシスを誘発するミトコンドリア産物の放出を担う膜透過性遷移孔複合体 (PTPC) の形成に関与する可能性がある。、その他: このタンパク質をコードする遺伝子は、X染色体およびY染色体の擬似常染色体領域1 (PAR1) に位置する。、その他: 膜貫通ヘリックスは膜面に対して垂直ではなく、斜めに膜を横切る。奇数番目の膜貫通ヘリックスは、保存されたプロリン残基の存在により、鋭い屈曲を示す。、類似性: ミトコンドリアキャリアファミリーに属する。、類似性: 3つのSolcarリピートを含む。、サブユニット: ホモ二量体。インフルエンザAウイルスPB1-F2タンパク質およびHIV-1Vprと相互作用する。、

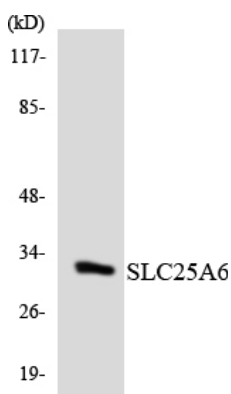
研究分野

カルシウム;パーキンソン病;ハンチントン病;

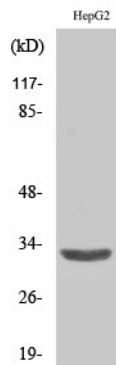
画像データ



SLC25A6抗体を用いたHepG2細胞および293細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



SLC25A6抗体を使用したK562細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



1: 2000 に希釈した ANT3 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析